

議会だより

のせ

No.68
平成29年11月



250年の歴史を刻む野間神社例大祭

平成28年度決算について審議

観光・文化施設の改修と設置を審議

一般質問：9人の議員が町政を問う

平成29年能勢町議会9月定例会議報告

9月定例会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議案第52号 東郷観光案内所の設置及び管理に関する条例の制定について

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顯治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長

認定第1号 平成28年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について

賛 否

認 定

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顯治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議長

認定第2号 平成28年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

賛 否

認 定

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顯治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

認定第4号 平成28年度能勢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

賛 否

認 定

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顯治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

報告第6号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る健全化判断比率等の報告について

報告第7号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告について

以下の案件は、全員賛成により可決・認定されました。

議案第53号 平成29年度能勢町一般会計補正予算（第2号）

- ・住基システム改修事業（マイナンバー関係システム改修費） 280万円
- ・淨るりシアター施設整備事業（館内トイレの洋式化工事費） 900万円
- ・観光拠点施設等整備事業（東郷観光案内所建設費） 3678万円
- ・町道等維持事業（通学路等追加実施工事費） 800万円

議案第54号 平成29年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第55号 平成29年度能勢町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第56号 平成29年度能勢町水道事業会計補正予算（第2号）

認定第3号 平成28年度能勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定第5号 平成28年度能勢町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について

認定第6号 平成28年度能勢町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第7号 平成28年度能勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第8号 平成28年度能勢町水道事業会計決算認定について

注：議長は、採決に加わりません。

平成28年度 能勢町一般会計歳入歳出決算認定について

反対討論

中西 顯治

町道平野線バイパス工事と火葬場建設について、工事発注、変更の手続きが不透明と問題視され訴訟が起こされている。当該予算に対する討論でも述べたが、職員定員の切り詰めに問題があり、「定員適正化計画」をも下回る人員での行政運営が職務の過重負担を引き起こしている。職員の労働環境も、改善されているとは思われない状態が継続されている。

以上の点を見て本決算に反対する。

平成28年度能勢町国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について

反対討論

中西 顯治

国民健康保険税が高すぎるといつ住民の声は減ることない。

決算における滞納額は年々減少しているが、世帯が安定して収納できているものばかりではない。滞納処分の停止による不納欠損額の増加は、町内世帯の窮状況を表している。

現在の国民健康保険制度は保険料のありかたが、格差を補う社会保障と言い難い制度となっている。

来年度からこの国保税は広域化によって値上げになると予想されている。このような住民意じめの制度に反対する。

以上の理由により本決算に反対する。

東郷観光案内所の設置及び管理に関する条例の制定について

反対討論

大平喜代江

前町長、元町長時代からの懸案であり、設置に反対するものではないが、無人の東郷観光案内所についての当該条例には、本町の公園や施設の設置及び管理に関する条例には明記されている「管理」の条文がない。「町長が管理する」ということを他の条例同様にお願いをするが、支障がないとする姿勢に反対表明をするものである。

賛成討論

長尾 義和

反対討論（大平議員）においては、施設の設置は基本的に賛成しながら、条例には管理に関する条項が無く、認められないという趣旨であった。そのようなことであれば、その部分に係る修正案をもって採決に臨むべきである。

なお、条例の第4条第1項第4号（その他町長が管理上支障があると認めるとき）の条文があり、管理に関する修正する必要はないとの判断し賛成する。

賛成討論

平田 要

東郷観光案内所は行政財産として設置する条例として上程されたものであり、管理については行政財産として、また施設使用については、条例第4条の（利用の制限）により町長が行うことなどが明記されている。管理運営については規則で定めるものとの説明があり必ずしも条文に「町長が管理すること」と明記することでもない。

この観光案内所は東地域の活性化と観光振興を図る先駆的な取り組みであり、今後の能勢町内において都市住民との交流を図るモデルとなる施設でもあります。原案の条例どおり賛成する。

(仮称)東郷観光案内所の設置について

事業目的

能勢町東地区の地域活性、観光振興に寄与するため、情報発信、交流及び休憩機能、トイレを有する無人の観光案内所を設置するもの。

設置場所 能勢町地黄2240番地内

- 構造等
- ・構造：木造平屋建て
 - ・延床面積： $59.62m^2$
 - (休憩スペース $34.78m^2$ 、トイレ $24.84m^2$)
 - トイレの内訳（男子・女子・多目的）

竣工予定 平成30年3月下旬



イメージ図

決算内容をより深く専門的に審査するため、各常任委員会で審議を行いました。

総務民生常任委員会報告

委員長 中西 顕治

9月21日、22日、本委員会に付託されました「平成28年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、総務部・出納室・議会事務局・健康福祉部の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 広報のせの編集体制と内容充実について

答 編集担当者1名で行っている。記事はより見やすく充実させてきた。従来より住民の投稿ページも活用されている。平成29年度より、企業のPRページも掲載している。

問 消防団の体制再編はどう検討しているか。

答 消防団の意向を尊重した中で、負担軽減を図れるよう再編の検討を行っていく。

問 能勢町が加入している各種保険の状況について

答 しあわせ守り隊のボランティア保険の他、全国町村賠償責任保険があり、町主催の行事や行政事業において、町の瑕疵が原因の場合に過失に応じて賠償を行う。

問 独居高齢者の見守りについて

答 徘徊緊急通報装置は、生産中止になっており普及に課題がある。今後、同種のシステムの導入を再検討する。

問 放課後児童クラブが定員の40名を超えてい るようだが、適切な運営か。

答 登録42名の他に臨時、一時保育があるが、常時40名は集まらない。2教室での実施予定はないが、子どもの居場所づくりは全町的に拡げていきたい。

問 子ども医療費助成が行なわれているが、町外 医療機関での受診に対する清算はどうなってい るか。

答 町外医療機関では窓口で医療費を支払う必要がある。町窓口への医療明細の提示から、最長2か月後の清算となる。

問 山下駅周辺の駐車場利用が減少して閉鎖とな っているところも多い。阪急バスの利用状況はど うなっているか。

答 利用実績分析は阪急バスが行っている。観光用(グランドバス)や学生用(スクールバス)の取り組みもなされ、妙見線では2万6千人から3万人に改善された。

問 子どもの生活実態調査で、全国平均に対する 認識は。

答 困窮度Ⅰは全体の17%を占め、国と比較しても高い。可処分所得の向上は必須である。既存施策制度の中で補完すべく施策展開を検討する。

続いて、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成28年度能勢町一般会計決算を認定

環境教育常任委員会報告

委員長 長尾 義信

9月15日、19日、本委員会に付託されました「平成28年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、環境創造部・教育委員会の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 平成28年度決算をもとに次年度の予算編成をどう反映させるか。

答 公平な税の再配分として、集中と選択のもと事業化し、産業を呼び込み、地域資源を活かし、取り組みたい。

問 淨るりシアターの自主事業等の実績と費用対効果は。

答 8事業の入場者は、3123人。そのうち5事業の入場者は100%以上である。また、てっぺんフェスティバルは約5000人の来場者を集め、高い効果を上げた。

問 5年にわたり能勢栗振興事業を実施しているが、栗の木が増えているように感じるが、対策を考えているのか。

答 苗の補助本数は1850本。能勢栗振興会で栽培講習会や地元有志による土地提供、苗木の育成にも取り組んでいる。

問 農産物の品質管理や畜産の防疫体制等、どのような対策をしているのか。

答 栽培履歴の表示や防疫体制は、大阪府とも協議連携し、農家とも勉強会を開催している。適切に対応してまいりたい。

問 「能勢の郷」購入後の利活用を検討しているのか。

答 郷土館跡地付近を中心とする公園化や敷地の一部において、例えば観光協会における観光事業、その管理についても指定管理制度導入などが現在の検討状況である。

問 事務局費計上の講師謝礼等の内訳、延べ人数は。

答 学校教育全体で英語、教育魅力化、自立活動支援、先生の講師謝礼。延べ人数は150名程度。

問 スクールバスの運行状況は。また、夏休み等の長期休業中の運行形態はどうしているか。

答 マイクロバス6台、中型バス4台、福祉車両1台、順調に運行をしている。

夏休み期間中、平和登校日まではプール使用、クラブ活動等運行している。平和登校日以降は、クラブ活動用として5台のみ運行している。

問 漢字検定事業の状況及び教育コーディネータ活用による成果は出ているのか。

答 漢字検定の合格率が89.4%。統合前から継続して取り組んでいる。教育コーディネータは、地域教育等を子どもたちに幅広くアドバイスをしている。

問 職場体験学習の事業所の受け入れ状況や課題は。

答 事業所21か所に協力をいただいている。平成29年度から事業所に職場体験実施中などの表示を取り入れる。すべての生徒が自分で行先を決めるなど主体的に行動できるよう指導していきたい。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

一般質問

町民の声を代表して 9人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。今回の議会では、9人の議員が、皆さんの中を代表して質問をしました。

に進める。

問 地元と連携した取り組みが必要である。お互いしっかりと協議していくことを確認する。

答 住民と協議し、とも

問 地域と連携した利活用方針が必要だと思われるが、考え方を問う。

答 基本計画等の策定に係る補正予算を上程し、地域住民と十分協議しながら進める。

施設の構築に努める。

東地域の新たな拠点施設の整備について

東地域の新たな拠点施設の整備について

部落差別解消の推進に関する法律に対する認識について

「知らない法律は、守れない」どのように住民に周知するのか。

部落差別解消の推進に関する法律に対する認識について

「知らない法律は、守れない」どのように住民に周知するのか。

一、東地域の新たな拠点施設の整備について
二、部落差別の解消の推進に関する法律に対する認識について
法律に対する認識について



岡本 ひとし





平田 要

一、残土の埋立て処分

二、農業支援体制の確保

三、有害鳥獣対策

問 小規模な残土、土砂の埋立て状況の把握と指導について問う。

答 把握ができるいないため、地元住民からの連絡等により、現地確認の上、法令等による違反などを調査した後、違反している場合は、所管する部署より指導を行っている。



月議会に上程を予定している。12月議会に上程を予定している。

問 小規模な残土、土砂の埋立て状況の把握と指導について問う。

答 把握ができるいないため、地元住民からの連絡等により、現地確認の上、法令等による違反などを調査した後、違反している場合は、所管する部署より指導を行っている。

問 (仮称) 農業公社設立構想の取組状況について問う。

答 農業公社設立構想は、農業者の高齢化や担い手不足に伴う農地の遊休地化対策案として示したものである。近年、農業を取り巻く厳しい状況を勘案すれば、将来にわたり農地を優良な状態で保全することは困難であろうと思われることから、将来を見越し、組織づくりの検討を行っている。

問 捕獲後の作業の軽減を図るために処理場及び処分場の確保について問う。

答 残土投棄の規模が比較的狭小であることを鑑みて、本町独自の条例を制定すべく、対象面積をはじめ諸条件の設定や既存残土置き場の対応等について検討している。

問 埋立て条例設置の検討状況について問う。

答 残土投棄の規模が比較的狭小であることを鑑みて、本町独自の条例を制定すべく、対象面積をはじめ諸条件の設定や既存残土置き場の対応等について検討している。

残土の埋立て処分

農業支援体制の確保

有害鳥獣対策

国民健康保険証の個人カードの形態

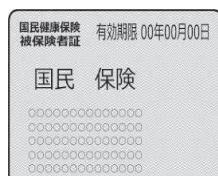
「子ども食堂」の取り組み

スポーツの振興



長尾 義信

元気で活力のあるまちづくりの実現を!!



問 個別の支援ではなく、居場所づくり事業として実施した。今後、子どもたちが歩いて行ける地域での居場所づくりができるよう考えている。

答 スポーツ人口の増加や各種団体の支援、充実に努める。新たなスポーツ振興策としてフルマラソン大会の開催の可能性を考えていきたい。

問 小規模な残土、土砂の埋立て状況の把握と指導について問う。

答 把握ができるいないため、地元住民からの連絡等により、現地確認の上、法令等による違反などを調査した後、違反している場合は、所管する部署より指導を行っている。

問 (仮称) 農業公社設立構想の取組状況について問う。

答 農業公社設立構想は、農業者の高齢化や担い手不足に伴う農地の遊休地化対策案として示したものである。近年、農業を取り巻く厳しい状況を勘案すれば、将来にわたり農地を優良な状態で保全することは困難であろうと思われることから、将来を見越し、組織づくりの検討を行っている。

問 捕獲後の作業の軽減を図るために処理場及び処分場の確保について問う。

答 残土投棄の規模が比較的狭小であることを鑑みて、本町独自の条例を制定すべく、対象面積をはじめ諸条件の設定や既存残土置き場の対応等について検討している。

問 埋立て条例設置の検討状況について問う。

答 残土投棄の規模が比較的狭小であることを鑑みて、本町独自の条例を制定すべく、対象面積をはじめ諸条件の設定や既存残土置き場の対応等について検討している。

問 捕獲後の作業の軽減を図るために処理場及び処分場の確保について問う。

答 経費や作業効率を考慮した結果、紙形式となつていている。平成30年度から国民健康保険制度改革による広域化後も事務の効率化、経費削減の面から可能性は低いと考える。

問 地域のボランティア等が地域の子どもに無料や安価で食事を提供する「子ども食堂」。本町は、今年度夏休みに能勢小学校において3回開設された。目的、効果及び今後の展開を問う。

残土の埋立て処分

農業支援体制の確保

有害鳥獣対策

国民健康保険証の個人カードの形態

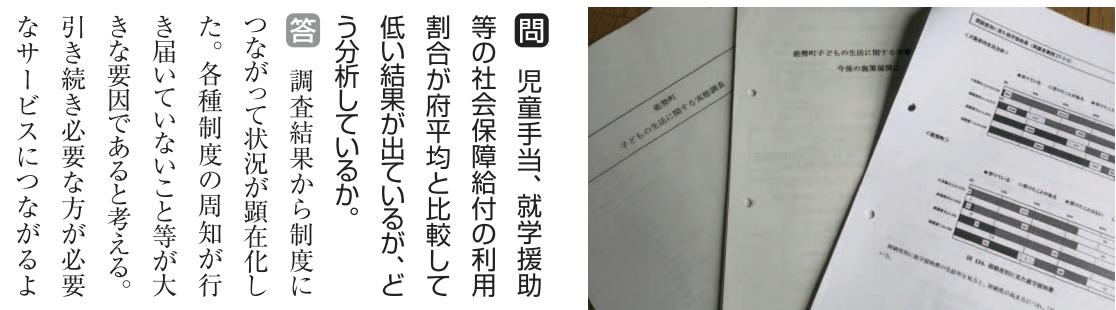
「子ども食堂」の取り組み

スポーツの振興



中西 順治

子どもの生活に関する実態調査の結果の活用を



う、家庭教育支援員を通じて配付する情報誌等に盛り込むなどの対応を行う。

家庭支援員は学校生

活の支援、指導を行うと

聞いているが、社会保

制度の案内なども行うの

か。

個人情報の関係もあ

り、行政側から家庭教育

支援員の方に情報は直接

開示できない。保護者と信

頼関係を構築し、相談が

受けられるようにならない。

う分析しているか。

児童手当、就学援助

等の社会保険給付の利用

割合が府平均と比較して

低い結果が出ているが、ど

う分析しているか。

調査結果から制度につながって状況が顕在化した。各種制度の周知が行

き届いていないこと等が大きな要因であると考える。

引き続き必要な方が必要なサービスにつながるよ

応じて対応している。受付も日数を限って、夜間の受付対応も行う。また、電話等で未申請、あるいは修正等の連絡対応も行なつてい

る。

低所得層に対しても生

活基盤確保のための現

金、現物給付の導入が必

要と考えるが、どう進め

るか。

生活基盤を安定させ

るために雇用対策や生

活保障の制度創設、改善

などについて、国、府へ要

望を行うとともに、生活基

盤確保の必要性が高い対

象者にポイントを絞った検

討を行う必要があると認

識をしている。

モバイルサービスのせつ子未来応援ナビ

定期予防接種のスケ

ジュール支援である。

登録利用者数の人数

について問う。

8月末時点で95名で

ある。

本サービスの案内は

広報の6月号、7月号

に載っているが、8月

号、9月号には載ってい

ない。紙面の都合もある

が、新サービスなので

もっと広報に載せてはどうか。

提案として受ける。新サービスなので、ホームページ上でも目立つピックアップ欄にも案内を載せてはどうか。

ホームページの画面構成については調整が必要である。新サービスを広めていくことに取り組んでいきたい。

ホームページの画面構成については調整が必要である。新サービスを広めていくことに取り組んでいきたい。

答

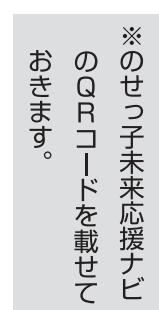
ホームページ

リニューアル



奥 久明

住民への情報発信



ホームページ
リニューアル

問 前回のホームページとの違いは何か。

答 スマートフォンやタブレット端末での対応が可能となつた。また全ての人にとって利用しやすいものにした。

問 LINEを使用した情報発信の予定はあるか。

答 現在のところ予定はない。ホームページを魅力的なものにすることが優先課題と考える。

豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 岡本 ひとし

第4回定例会 8月17日開催

豊能町役場大会議室において開催され、業務内容について一般質問を行い、以下の議案を審議しました。

議案

報告第1号

平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計予算事故繰越し繰越計算書について
豊能郡美化センターバイパス道路境界確定測量業務を平成29年度に繰越

議案第12号

訴訟の提起について

・組合前管理者・田中龍一氏及び前副管理者・山口禎氏に対し、9650万円の賠償金及び平成28年2月23日から支払済みまで年5分の割合による遅延損害金の支払いを求め、訴訟費用は両名の負担とするとの判断を求めるもの。

原案可決

認定第1号

平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入合計 1億8389万7371円
歳出合計 1億2937万5936円

不認定

・濃度汚染物処理調査特別委員会の中間報告について

現時点においては、行政として法令順守の欠如と、行政の長としての判断能力に欠ける行いが一連の事件へと発展したものであると考える。今後は、再発防止の警鐘としての意見を提出すべく、最終報告書をまとめる予定であるとの報告がありました。

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会報告

組合議員 長尾 義信

第2回定例会 8月9日開催

国崎クリーンセンター大会議室において開催され、業務内容について一般質問を行い、以下の議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

議案

報告第1号

平成28年度

猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算継続費精算報告書の報告について

報告第2号

平成28年度

猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算継続費精算報告書の報告について

認定第1号

平成28年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合歳入歳出決算認定について

認定第2号

平成28年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算継続費精算報告書の報告について

認定第3号

平成29年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合補正予算（第1回）
債務負担行為

期間

平成29年度から平成32年度

事項
リサイクルプラザプラットホーム部門運転管理業務委託
リサイクルプラザ大型・粗ごみ部門運転管理業務委託
リサイクルプラザ圧縮形成部門運転管理業務委託
リサイクルプラザ圧縮形成部門運転管理業務委託

議員総会 8月9日開催

第2回定例会終了後、国崎クリーンセンター大会議室において開催され、以下の事項について報告がありました。

平成28年度

・国崎クリーンセンター焼却施設等管理運営業務委託の効果について
・平成28年度指定管理業務の評価について
・平成28年度ダライオキシン類総排出量について
・ごみ処理基本計画について（□頭報告）
施設管理業務（平成27年度環境影響調査業務委託費）
平成28年度環境影響調査業務委託費
第2期焼却施設等管理運営業務事業者選定支援業務費

～のせ栗まつり～ おおさかのてっぺんフェスティバル 観光ガイドツアー



10月1日に行われた「てっぺんフェスティバル」で、観光ガイドの会が企画された東地域でのガイドに同行させていただきました。

野間の大ケヤキから、地黄城跡地、清普寺と旧跡の案内。観光ガイドの兵庫さんが能勢の魅力を伝えてくださいました。

池田から来られた参加者は「能勢にはこんな歴史のある良いところがあるんですね。」とツアーを楽しんでおられました。

表紙のことば

「野間神社」(東郷地区)

内の例大祭が10月7・

8日の2日間、4年ぶり

に本祭りが執り行われま

した。

1819年当時の6カ

村の庄屋、若者総代、年

寄が協議し、6台の「だ

んじり」と「松だんじり」

の曳行に「獅子舞」の奉

納が250年を経た今

日まで引き継がれてい

ます。その間に神輿も加

わりこの地区に豪勢なお

祭りとして継承されてい

ます。

「まつり」を通して地

域の絆を深める場と機会

として大事な行事と考え

ます。文化を受け継ぎ、

地域のつながりをさらに

強め、活力ある地域づくりにつながることを願い

ます。

さて、今回の議会だよりは9月の定例会議の内容を中心に掲載しております。9月の定例会議の主な内容は平成28年度歳入歳出の決算認定及び観光・文化施設の改修と設置の審議でした。これからも創意工夫を重ねながら親しみやすく、わかりやすい「議会だより」の作成に努めてまいります。みなさんからのご意見、ご感想などお気軽に寄せください。

広報特別委員会

委員長 森田 則子
副委員長 伊木 真由子
委員 奥 久明
中西 順治
長尾 義信

編集後記

お気軽にみなさんのご意見
ご感想を、お寄せください。
電話 七三四一—四六〇
FAX 七三四一—四六〇
『広報特別委員会』

までお願いします。

発行／能勢町議会

発行責任者／中植 昭彦 編集／広報特別委員会 発行日／平成29年11月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL (072)734-0151 FAX (072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>